

平成30年度実施 事務事業評価・実施計画

No. 87

Plan

事業名	廃棄物処分場管理運営事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続							
予算科目	一般会計	4 款	2 項	1 目	事業1	144	事業2	286								
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課										
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-②資源循環型社会を構築する										
事業の目的	生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市民生活により排出される廃棄物を安定的に埋立処分する。 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条の2)															
事業の概要	笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場に係る施設の一般維持管理(浸出水水質検査、分別推進、再資源化、廃棄物発生抑制)及び車両等の維持管理、周辺環境整備(地元対策)の実施。															

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
	財 源 内 訳	国庫支出金		0	0
・笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場に係る施設の一般維持管理(浸出水水質検査、分別推進、再資源化、廃棄物発生抑制)及び車両等の維持管理、周辺環境整備(地元対策)の実施。 ・笠子廃棄物処分場の長寿命化計画を策定。	県支出国庫支出金	0	58,811	47,954	
	市債	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	一般財源	58,811	47,954		

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定		判定理由			
必要性						
有効性						
効率性						
総合評価						

Action

今後の方針		内容
事業費	拡大	施設及び管理車両の法定点検等維持管理、処理水等の法定基準値を遵守した維持管理は必要であり、老朽化する設備の改修に予算等の投入が必要。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	・施設及び管理車両の法定点検等維持管理・処理水等の法定基準値を遵守した維持管理 ・老朽化する設備の改修	・施設及び管理車両の法定点検等維持管理・処理水等の法定基準値を遵守した維持管理 ・老朽化する設備の改修 ・水処理施設延命化対策工事	・施設及び管理車両の法定点検等維持管理・処理水等の法定基準値を遵守した維持管理 ・老朽化する設備の改修 ・水処理施設延命化対策工事 ※包括契約(1年目)
事業費(千円)	224,191		

平成30年度実施 事務事業評価・実施計画

No. 88

Plan

事業名	廃棄物対策事業			事業類型	法定(裁量含む)	実施計画	○	区分	継続							
予算科目	一般会計	4 款	2 項	1 目	事業1	145	事業2	292								
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課										
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-②資源循環型社会を構築する										
事業の目的	家庭系一般廃棄物を適正に収集し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律)															
事業の概要	可燃ごみ、不燃ごみ、資源物などの家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託。指定ごみ袋の作製。浜松市への可燃ごみ委託の実施。その他資源物をリサイクルするとともに、ごみの分別・減量や不法投棄防止等の啓発を実施。															

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
	財 源 内 訳	国庫支出金		0	0
可燃ごみ、不燃ごみ、資源物などの家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託。指定ごみ袋の作成。浜松市への可燃ごみ委託の実施。生ごみ堆肥化容器等購入費補助金・リサイクル活動奨励金の交付。資源物のリサイクルのほか、ごみの分別・減量や不法投棄防止等の啓発を実施。	県支出国庫	0	612,087	598,906	
	市債	0	0	120	
	その他	50,818	53,919	561,269	544,867
	一般財源	561,269	544,867		

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標		
	可燃ごみの年間処理量(t)		13,157	13,150	13,130	13,100		
事業の評価	判定	判定理由						
	必要性	A	環境への負荷を減らすため、ごみの減量と分別徹底の取り組みは必須である。					
	有効性	A	焼却施設の再稼働までは現在の取り組みを継続し、更なるごみの減量を行っていく。					
	効率性	B	効果的なリサイクルを維持しつつ、焼却施設の再稼働に向けて分別方法の見直しの検討を行う。今後、事業系ごみの排出ルールの徹底を強化していく。					
総合評価	総合評価	A	本市のリサイクル率は県内でも上位となっており、当面事業内容、実施方法とともに現行方法を維持していくことが適切であるが、費用対効果を検証しながら適正なごみ処理を行っていく。市民や地域だけでなく、事業所に対してもごみの減量や分別の徹底を発信していく。					

Action

今後の方針		内容
事業費	維持	事業内容、実施方法とともに現行方法を維持するとともに、ごみ減量のための各種分別方法の徹底、指導、PRを推進していく。なお、平成35年度中の焼却施設の再稼働に合わせ、ごみの分別方法を見直すため、効率的な方法を検討していく。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系一般廃棄物の収集運搬 ・草木破袋等選別業務の委託 ・浜松市へ可燃ごみの処理委託 ・指定ごみ袋の作製 ・資源物のリサイクル など 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系一般廃棄物の収集運搬 ・草木破袋等選別業務の委託 ・浜松市へ可燃ごみの処理委託 ・指定ごみ袋の作製 ・資源物のリサイクル など 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭系一般廃棄物の収集運搬 ・草木破袋等選別業務の委託 ・浜松市へ可燃ごみの処理委託 ・指定ごみ袋の作製 ・資源物のリサイクル など
事業費(千円)	2,084,478		

平成30年度実施 事務事業評価・実施計画

No. 89

Plan

事業名	ごみ処理施設管理運営事業			事業類型	施設管理	実施計画	○	区分	継続							
予算科目	一般会計	4款	2項	1目	事業1	146	事業2	298								
担当部署	部	環境部			課	廃棄物対策課										
総合計画体系	めざすまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち			基本計画	4-②資源循環型社会を構築する										
事業の目的	法規定に基づく維持管理基準を遵守し資源循環型社会を実現するため、資源の有効な利用の確保を図る。 (廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第6条の2)															
事業の概要	環境センターで処理した可燃ごみ等を運搬するため、運搬車両を管理を行うとともに環境センターリサイクルプラザの管理及び運営を行う。															

Do

事務事業評価

平成 29 年度	事業実績		事業費(千円)	当初予算額	決算額
	財 源 内 訳	国庫支出金		0	0
	運搬車両及び施設設備機器等に係る維持管理保守点検及び搬入された廃棄物の破碎・選別、資源化、運搬、処理を法定基準内で滞りなく行った。また、家庭系持込ごみの有料化をH25.10月から実施している。	県支出去	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	35,947	57,552	57,552
		一般財源	285,091	254,792	254,792

Check

成果指標	成果指標名(単位)		H28実績	H29目標	H29実績	H30目標
	判定		判定理由			
必要性						
有効性						
効率性						
総合評価						

Action

今後の方針		内容
事業費	拡大	廃棄物処理施設の維持管理基準を遵守した運営は必要であり、今後、老朽化した機械の更新等にさらなる予算等の投入が必要となる。

実施計画

年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 運搬車両及び施設設備機器等に係る維持管理保守点検 搬入された廃棄物の破碎・選別、資源化、運搬、処理 焼却施設再稼働に向けた調査等 	<ul style="list-style-type: none"> 運搬車両及び施設設備機器等に係る維持管理保守点検 搬入された廃棄物の破碎・選別、資源化、運搬、処理 焼却施設再稼働に向けた調査等 環境影響評価・PFIアドバイザリー 受電設備修繕 解体実施設計 	<ul style="list-style-type: none"> 運搬車両及び施設設備機器等に係る維持管理保守点検 搬入された廃棄物の破碎・選別、資源化、運搬、処理 焼却施設再稼働に向けた調査等 PFIアドバイザリー 解体工事
事業費(千円)	1,267,909		